

# SDGs、及びCO2削減に向けた取り組みと情報発信



WG09

SDGsおよびカーボンニュートラル・エコドライブ

2023.7.7 TDBC Forum 2023

# WG09参加メンバー（順不同）



## 事業者会員 10社

- アルピコ交通株式会社
- 梅田運輸倉庫株式会社
- 大河原運送株式会社
- 株式会社大林組
- 株式会社合通ロジ
- 株式会社セイリョウライン
- センヨシロジスティクス株式会社
- 谷口運送株式会社
- 野原ホールディングス株式会社
- 日立建機ロジテック株式会社

## パートナーシップ会員 1社

- 大王製紙株式会社

## オブザーバー参加

- 国土交通省

## サポート会員 13社

- 株式会社アスア
- 株式会社SL Creations
- N S W株式会社
- 株式会社サトー
- 株式会社GCAP
- 株式会社商工組合中央金庫
- 株式会社スペース
- 株式会社スマートバリュー
- 株式会社デンソーウェーブ
- 日本ミシュランタイヤ株式会社
- 株式会社パスコ
- 株式会社ブリヂストン
- 三井住友海上火災保険株式会社

リーダー、サブリーダー

# 2022年度 WG09活動方針



## 運輸事業者のSDGs取組を牽引!!

### ① 運輸事業者にとっての「SDGs経営」「カーボンニュートラル」を研究

- 会員内外での取組事例を情報収集、知見を積み上げる。
- サポート会員等が持つ商品・サービスを、率先活用し実効性を検証。  
特に、「**CO2削減**」に資するソリューションの実証実験を予定。
- SDGsはテーマの間口が広い為、他のWGとの連携も検討。

### ② SDGs啓発活動

- WG09主催セミナーの開催：最低2回
- 実際に取り組を実践している運輸事業者の**取組事例集**等の作成・紹介
- WGメンバーの増強（事業者会員、サポート会員）

### ③ 運輸事業者の具体的な活動を支援

- SDGs経営の開始を検討する企業へのご支援。（**宣言、実取組、発信**）
- 有効と判断されたサポート会員等の商品・サービスを、TDBC内外にご紹介。

★ 将来的に、外務省**「ジャパンSDGsアワード」への応募**を計画

# 2022年度 WG09活動方針



## 運輸事業者のSDGs取組を牽引!!

### ① 運輸事業者にとっての「SDGs経営」「カーボンニュートラル」を研究

- 会員内外での取組事例を情報収集、知見を積み上げる。
- サポート会員等が持つ商品・サービスを、率先活用し実効性を検証。  
特に、「**CO2削減**」に資するソリューションの実証実験を予定。
- SDGsはテーマの間口が広い為、他のWGとの連携も検討。

### ② SDGs啓発活動

- WG09主催セミナーの開催：最低2回
- 実際に取り組を実践している運輸事業者の取組事例集等の作成・紹介
- WGメンバーの増強（事業者会員、サポート会員）

### ③ 運輸事業者の具体的な活動を支援

- SDGs経営の開始を検討する企業へのご支援。（宣言、実取組、発信）
- 有効と判断されたサポート会員等の商品・サービスを、TDBC内外にご紹介。

★ 将来的に、外務省「ジャパンSDGsアワード」への応募を計画



# サプライチェーン全体での脱炭素取組

- **サプライチェーン排出量**（事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関係するあらゆる排出を合計した排出量）の削減が、SBTでは求められる
- サプライチェーン排出量 = **Scope1排出量** + **Scope2排出量** + **Sc3**



**Scope1**：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

**Scope2**：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

**Scope3**：Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

出典 環境省HP



# SBTに参加する日本企業の認定数が更に増加

- 2021年度に69社が認定を取得し、認定企業数では**世界2位**を維持
- 日本企業の取組拡大は2018年以降、増加傾向

累計企業数グラフ



「2°C目標」に沿ったGHG排出削減をコミットするイニシアチブ  
「Science Based Target」

※2023年3月1日までに認定企業369社、コミット企業69社、合計438社まで拡大。

[出所]環境省ホームページ SBT\_joukyou.pdf ([https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply\\_chain/gvc/files/SBT\\_joukyou.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/SBT_joukyou.pdf))より作成



# SBT認定取得済の日本企業 1/2

2023年3月1日現在



- 認定取得済の企業は世界で2,310社（うち日本企業369社）
- 世界的には食料品が、日本では電気機器、建設業が多い

## すでに認定を受けている日本企業369社の一覧 1/2

※業種内五十音順  
 ※下線付の企業が環境省SBT策定国別別支産業実施企業（2017～2020年度）

- 建設業：安藤・間／大林組／奥村組／積谷組／石洋建設／ジェネックス／清水建設／住友林業／積水ハウス／大東建託／大成建設／大和ハウス工業／高砂硝子工業／東亜建設工業／東急建設／戸田建設／西松建設／長谷工コーポレーション／前田建設工業／LIXILグループ
- 食料品：アサヒグループホールディングス／味の素／カゴメ／キリンホールディングス／サントリー食品インターナショナル／サントリーホールディングス／日清食品ホールディングス／日本たばこ産業／不二製油グループ／明治ホールディングス／ロッテ
- 繊維製品：東レ／東洋紡
- 化学：花王／コーセー／小林製薬／岡生堂／住友化学／積水化学工業／高砂香料工業／DIC／ホーワ・オルビスホールディングス／ユニ・チャーム／ライオン／ロックベント
- 医薬品：アステラス製薬／エーザイ／大塚製薬／小野薬品工業／参天製薬／塩野義製薬／大塚薬品工業／第一三共／武田薬品工業／中外製薬
- ゴム製品：ブリヂストン
- 金属製品：YKK AP
- ガラス・土石製品：AGC／TOTO／日本板硝子／日本特殊陶業
- 非鉄金属：住友電気工業／古河電気工業／YKK
- 機械：アマダ／小島製作所／DMG森精機／ナブテスコ／日立建機
- 電気機器：アドテック／アンリツ／アズビル／ウシオ電機／EIZO／オムロン／カシオ計算機／京セラ／ユニカミルタ／シャープ／SCREENホールディングス／セイコーエプソン／ソニー／ソニーグループ／東芝／日新電機／日本電気／追分ホトニクス／パナソニックホールディングス／日立製作所／ファナック／富士通／富士電機／富士フイルムホールディングス／ブラザー工業／三菱電機／村田製作所／昭電舎／安川電機／ヤマハ／リコー／REINOWAホールディングス／ローム／ルネサスエレクトロニクス
- 輸送用機器：トヨタ自動車／日産自動車
- 精密機器：シチズン時計／島津製作所／テルモ／ニコン
- その他製品：朝日ワッドテック／アシックス／オカムラ／コマンシー
- 印刷：大日本印刷／凸版印刷
- 海運業：川崎汽船／日本郵船
- 空運業：ANAホールディングス／国際航空
- 情報・通信業：SCSK／エヌ・ティ・ティ・データ／NTTドコモ／KDDI／ソフトバンク／TIS／日本電信電話／野村総合研究所
- 小売：アスクル／イオン／J.フロントリテイリング／ファーストリテイリング／ファミリーマート／丸井グループ
- 不動産業：NTTアーバンソリューションズ／東急不動産ホールディングス／東京建物／野村不動産ホールディングス／ビュウ／三井不動産／三菱物産／森ビル
- サービス業：セコム／ダイセキ／電通／ベネッセコーポレーション





※なお、業種の分類に該当する企業は、SBT事務局において業種別の認定基準を検討中であるため、認定が行われていない。「中小企業」の項目には、中小企業版SBTにて認定を取得した企業名を記載している。  
 [出所]Science Based Targetsホームページ Companies Take Action(<http://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/>)より作成。業種分類は事務局が日本標準産業分類等に当てはめ作成。

# ① 運輸事業者にとっての「SDGs経営」「カーボンニュートラル」を研究



## サポート会員ソリューションメニュー実証実験参画企業様募集説明会

日程：2023年2月2日（木）

ソリューションメニュー	サポート会員企業
<p><b>CIEMS</b>（車両の燃料消費量を可視化）</p> <p>当社サービスのCIEMSは車両の【燃料消費量】を自動で可視化！                  レンジャーとギガで検証を行い、給油レシート（給油量）との差が<b>-1%</b>                  燃費の削減には現状、どれだけ燃料を使用しているかを正しく把握することが重要です。                  有償の実証実験となりますが、<b>¥267,058</b>の年間コスト削減の可能性もあります。＝                  実証実験機器利用料：¥25,000/年 募集社数：機器が無くなり次第終了</p> 	<p>株式会社 スマートバリュー</p>  <p><a href="https://www.smartvalue.ad.jp/">https://www.smartvalue.ad.jp/</a></p>
<p><b>カーボンニュートラル</b></p> <p>動態管理プラットフォームを物流EDI（伝票データ）と連携させることで、貨物（商品）ごとの輸送トレーサビリティを可視化し、物流分野においてより信頼性の高いカーボンニュートラルのアカウントビリティを実現する。                  さらに、事業者によるCO2排出量を削減するため、<b>エコドライブの実践、積載効率の改善、走行ルートの見直し</b>などを通じて、脱炭素社会の実現を目指す。                  ※WG05CN分科会で実証実験中</p> <p>WG05CN分科会での実証実験の終了後に募集開始予定                  ※参加条件：動態管理PFに対応したデジタコを保持していること</p>	<p>株式会社アスア</p>  <p><a href="https://www.asua.ne.jp/">https://www.asua.ne.jp/</a></p>
<p><b>エコタイヤ</b>（エコタイヤによる燃料費削減効果の可視化）</p> <p>低燃費タイヤによる<b>燃料費&amp;CO2の削減効果</b>を一緒に検証しませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>タイヤ及び車両運行データ取得機器</b>はブリヂストンから<b>無償提供</b></li> <li>・募集事業者数：<b>4社前後</b>（高速道路使用頻度別に検証希望）</li> <li>・対象車両：<b>8t車以上</b></li> <li>・事業者様へのお願いは：<b>車両情報と日報情報</b>（積載重量含む）のご提供                      運行データの活用許可</li> </ul> <p>燃料費の削減を通してカーボンニュートラルを一步進めませんか？</p>	<p>株式会社 ブリヂストン</p>  <p><a href="https://www.bridgestone.co.jp/">https://www.bridgestone.co.jp/</a></p>

参加企業：**8社様**

現在、実証実験参画にお手を挙げて頂いた企業様と各サポート企業にて実証実験実施に向けた調整を行っております。





# スマートバリュー<燃料消費量の可視化>

法人向けテレマティクスサービス「CiEMS3G」

-実験内容-

給油レシート（給油量）とCiEMSで自動取得している燃料消費量を比較



▲実証実験で利用したサービス

車種：日野 レンジャー7758  
設置日：2022年11月2日  
データ取得日：2022年11月3日 14:22～

車種：いすゞ ギガ4081  
設置日：2022年11月9日  
データ取得日：2022年11月9日 14:40～

▼CiEMS計測値とレシートデータの差異（係数修正版）

期間	CiEMSでの 燃料消費量合計 (L)	レシートと CiEMSデータの差 (L)	乖離率 (%)
①～②	103	10	-9
②～③	90	-1	2
③～④	104	-1	2
④～⑤	113	4	-6
⑤～⑥	158	-1	1

▼CiEMS計測値とレシートデータの差異（係数修正版）

期間	CiEMSでの 燃料消費量合計 (L)	レシートと CiEMSのデータ差 (L)	乖離率 (%)
①～②	257.3	-3.7	-1
②～③	260.4	6.4	3
※～④	266.6	4.6	2
④～⑤	272.9	7.9	3
⑤～⑥	271.7	-8.3	-3

▲初期設定していた係数では乖離がありましたが、給油レシートと走行距離から係数を修正  
走行距離についても、2台とも、CiEMSで取得した走行距離<オドメータ値の走行距離で  
レンジャー7758：0.16%の誤差 / ギガ4081：1.1%の誤差 という結果でした。



# スマートバリュー〈燃料消費量の可視化〉

## ▼実証実験のゴール

データの乖離が無い場合：CiEMSは満タン法に代替できると証明されたため、**エコドライブなどを実現するための方法の検証**

データに乖離がある場合：現状のCiEMSでは情報が正確ではないため、**技術的に改善できるか当社で検討**

乖離原因は設定された燃料係数

→この係数は必要情報をもって、修正が可能 = **技術的に改善できる項目であると判明**

必要情報

- ✓ 任意の区間の1回分の給油量（満タン～満タン）
- ✓ 任意の区間のトリップまたはオドメーター値
- ✓ （より正確にするために）スタンド・給油レーンを同じ場所を使用する

1～2回の給油情報とその期間の走行データがあれば、逆算して係数の適正化が可能

※理論上、1週間程の両データがあれば全車両の燃料消費量を最大ポテンシャルで±2%の計測が可能

## ▼Next

対応車種の拡大！

1車種でもCiEMSが搭載できれば、データ取得の可否・補正の必要有無・データ補正などが行えます。  
精緻な情報が拾えれば、月次ベースでの燃料消費量のやCO2排出量が“運行単位”で可視化できます。



TDBC WG09

実証実験の目的と進捗の共有

2023年07月07日

Confidential

## カーボンニュートラルの促進に重要な、燃料使用量削減に貢献できるソリューション技術の開発を進め、運送事業者様に貢献したい

### ■ブリヂストンが実施したいこと

運送事業者様が実践できる燃料の削減手段を提案し、燃料費と排出CO2の低減に貢献する

### ■開発が必要な技術

運行データ(積載量, GPS, 車速 等)とタイヤデータを組み合わせて、消費燃料に影響を与える要素を見える化して、タイヤ起点から、省燃費を含む運行の最適化をご提案できる技術

### ■取り組みの進捗

ご賛同いただいた企業名	試験車両			運行データ取得の準備状況	
	最大積載量	車軸数	タイヤ種	タイヤデータ取得準備	車両データ (SVの機器) 取得準備
株式会社セイリョウライン様	20t越え	2軸+2軸 (トレーラ)	各社2種 ・バランスタイヤ ・エコタイヤ	済	7 / 下旬
梅田運輸倉庫株式会社様	7t	2軸		7 / 月上旬	
センヨシロジ/WORKS株式会社様	14t	3軸		済	
鈴与カーゴネット株式会社様	13t	4軸		済	

SV：スマートバリュー様



# 2022年度 WG09活動方針



## 運輸事業者のSDGs取組を牽引!!

### ① 運輸事業者にとっての「SDGs経営」「カーボンニュートラル」を研究

- 会員内外での取組事例を情報収集、知見を積み上げる。
- サポート会員等が持つ商品・サービスを、率先活用し実効性を検証。  
特に、「CO2削減」に資するソリューションの実証実験を予定。
- SDGsはテーマの間口が広い為、他のWGとの連携も検討。

### ② SDGs啓発活動

- WG09主催セミナーの開催：最低2回
- 実際に取り組を実践している運輸事業者の取組事例集等の作成・紹介
- WGメンバーの増強（事業者会員、サポート会員）

### ③ 運輸事業者の具体的な活動を支援

- SDGs経営の開始を検討する企業へのご支援。（宣言、実取組、発信）
- 有効と判断されたサポート会員等の商品・サービスを、TDBC内外にご紹介。

★ 将来的に、外務省「ジャパンSDGsアワード」への応募を計画

②SDGs啓発活動 セミナーをWG09主催で開催する：最低2回



## 「運輸業SDGsフェスタ」

### <セミナーセッション>

- セミナー講義

- SDGsにお取り組みされている企業様の事例発表

- WG09会員 SDGsに寄与する取組商品・サービス紹介

### <ワークショップセッション>

- 三井住友海上の支援メニュー「SDGsワークショップ」を模擬開催。  
参加メンバーが自社内でのSDGs浸透策を体感！！



#include <fw2

deo

0x3  
...  
789  
000

"ush"  
"auxlib.h"  
"ualib.h"

000  
000  
000  
000  
000  
000

eo sa jca nbaa uRiomeia usha ronnaa ronnaa ronisa rmae rna )

'eap



## ②SDGs啓発活動 セミナーをWG09主催で開催する：最低2回



<第1回開催>

# 「運輸業SDGsフェスタ」

2023年2月22日(水)

**運輸業SDGsフェスタ**

～一体どうやって取り組んだら良いのだろう？～

開催日：2023年 2月 22日 (水)

時間	内容	参加費	備考
午前の部 9:30 ~ 12:30	セミナーセッション	定額200名 (定員に達しない場合は200名)	
	会場参加	定額30名 (定員に達しない場合は30名)	
午後の部 14:00 ~ 17:00	ワークショップセッション	定額30名 (定員に達しない場合は30名)	
	会場参加	定額30名 (定員に達しない場合は30名)	

会場：福岡県北九州市小倉北区大倉3丁目1番1号 三井住友海上ビル

**講演者**

三井住友海上 岸本部長 (WG09) によるセミナー講義  
 ～一体どうやって取り組んだら良いのだろう？～

**SDGsにお取り組みされている企業様の事例発表**

福岡県 株式会社大安 平川社長 様  
 愛知県 株式会社セイリョウライン 幣旗社長 様

**WG09会員 SDGsに寄与する取組商品・サービス紹介**

株式会社スマートバリュー (超広角バックカメラ、CiEMS)  
 株式会社アスア (エコドライブ活動支援)  
 株式会社ブリヂストン (エコタイヤ)  
 株式会社SL Creations (常備型社食サービス)

**ワークショップセッション** (ファシリテーター：三井住友海上 岸本部長)

●三井住友海上の支援メニュー「SDGsワークショップ」を模擬開催。  
 参加メンバーが自社内でのSDGs浸透策を体感！！

### <セミナーセッション>

●三井住友海上 岸本部長 (WG09) によるセミナー講義  
 ～一体どうやって取り組んだら良いのだろう？～

●SDGsにお取り組みされている企業様の事例発表  
 福岡県 株式会社大安 平川社長 様  
 愛知県 株式会社セイリョウライン 幣旗社長 様

●WG09会員 SDGsに寄与する取組商品・サービス紹介  
 株式会社スマートバリュー (超広角バックカメラ、CiEMS)  
 株式会社アスア (エコドライブ活動支援)  
 株式会社ブリヂストン (エコタイヤ)  
 株式会社SL Creations (常備型社食サービス)

### <ワークショップセッション> (ファシリテーター：三井住友海上 岸本部長)

●三井住友海上の支援メニュー「SDGsワークショップ」を模擬開催。  
 参加メンバーが自社内でのSDGs浸透策を体感！！

## <セミナーセッション> 参加者106名（会場参加者+WEB参加者） アンケートご回答36名

### 貴社のSDGs取組について



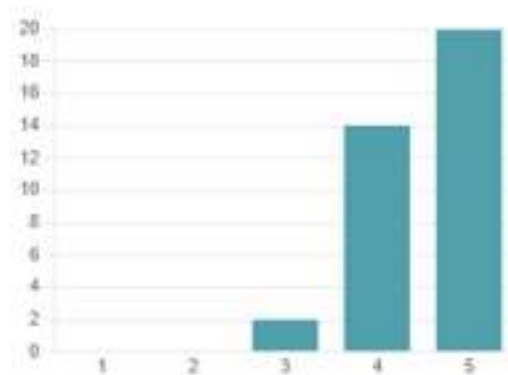
### 貴社のカーボンニュートラル取組について



### 「SDGsに寄与する商品・サービスのご紹介」について、ご興味がある商品・サービス



### セミナーについて、全体を通しての満足度はいかがでしたか？



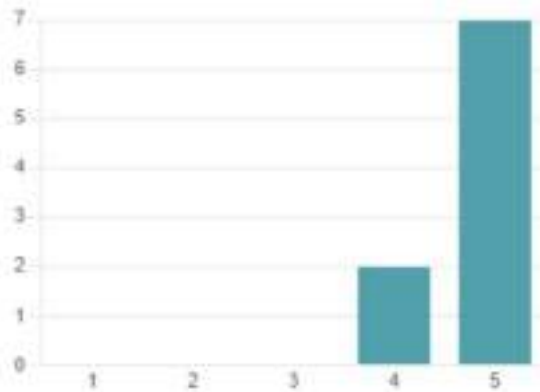
平均評価

4.50



## <ワークショップセッション> 参加者 24名（会場参加者） アンケートご回答 9名

### ワークショップの満足度はいかがでしたか？



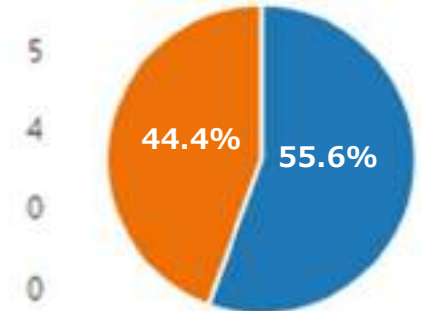
平均評価

4.78

- 大変いい体験になりました。当社の会議でもこのようなワークショップを開催したいと思います
- 大変参考になりました。
- 大変面白いワークショップでした。誠にありがとうございました。社内で別の部署で検討しており、進捗をみなながらご相談できればと思います。
- 個人の考えや思いが分かる気がします。日頃ざっくばらんに話す機会が無いので、検討したいと思います。
- 自社ではまだ難しいので、また何度か参加させてください。
- 課題を持ち帰り少しずつ取組みを実践して行きます。
- 大変有意義でした。自社の階層別教育でワークをやっていますが、今回を参考に充実させて行きます。

### 今回のようなワークショップを自社でも実施したいですか？

- 実施したい
- 興味はある
- 興味はない
- その他



## ②SDGs啓発活動 セミナーをWG09主催で開催する：最低2回

<第2回開催>

# 「運輸業SDGsフェスタ」

2023年6月20日(火)

～一体どうやって取り組んだら良いのだろう？～

### 第2回 運輸業SDGsフェスタ

開催日: 2023年 6月 20日 (火) 会場: 未定

時間	内容	参加費
13:00～13:15	セミナーセッション (WEB参加:200名)	無料500名 (定員超過の場合は抽選となります)
15:00～17:30	ワークショップセッション (会場参加)	無料30名 (定員超過の場合は抽選となります)

**セミナーセッション**

- 講演: 三井住友海上火災保険株式会社
  - 水害被害の現状とSDGsへの取り組み
  - 水害被害の現状とSDGsへの取り組み
  - 運輸業のSDGsへの取り組み
  - 運輸業のSDGsへの取り組み
- 講演: 三井住友海上火災保険株式会社
  - 水害被害の現状とSDGsへの取り組み
  - 水害被害の現状とSDGsへの取り組み
  - 運輸業のSDGsへの取り組み
  - 運輸業のSDGsへの取り組み

**ワークショップセッション**

ファシリテーター: 三井住友海上火災保険株式会社

### <セミナーセッション>

- **三井住友海上 岸本部長 (WG09) によるセミナー講義**  
～一体どうやって取り組んだら良いのだろう？～
- **SDGsにお取り組みされている企業様の事例発表**  
埼玉県 首都圏ホールディングス 駒形社長 様  
東京都 谷口運送株式会社 丸山取締役 様、糀係長 様
- **WG09会員 SDGsに寄与する取組商品・サービス紹介**  
株式会社セイリョウライン (高塩基・蒸発しないエンジンオイル)  
日本ミシュランタイヤ (MICHELIN TIRE CARE)  
三井住友海上火災保険 (株) (SDGsオンライン「Platform Clover」)

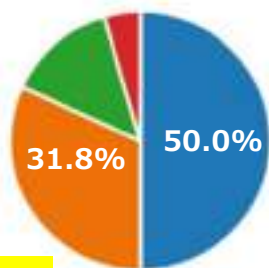
### <ワークショップセッション> (ファシリテーター: 三井住友海上 岸本部長)

- **三井住友海上の支援メニュー「SDGsワークショップ」を模擬開催。**  
**参加メンバーが自社内でのSDGs浸透策を体感！！**

## <セミナーセッション> 参加者103名（会場参加者+WEB参加者） アンケートご回答22名

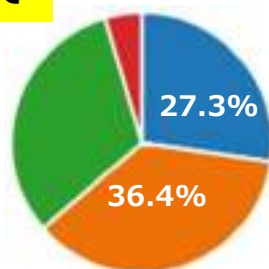
### 貴社のSDGs取組について

● 取組を行っている	11
● これから取り組みたい	7
● 取り組む予定はない	3
● その他	1



### 貴社のカーボンニュートラル取組について

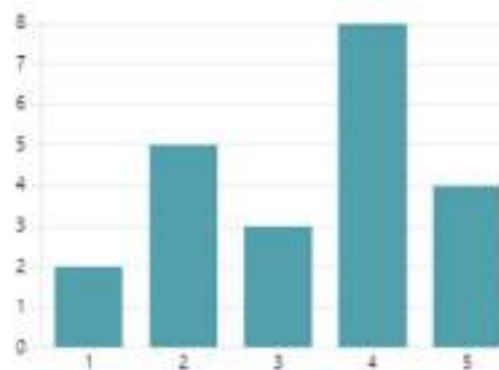
● 取組を行っている	6
● これから取り組みたい	8
● 取り組む予定はない	7
● その他	1



### 「SDGsに寄与する商品・サービスのご紹介」について、ご興味がある商品・サービス

● 株式会社セイリョウライン	4
● 日本ミシュランタイヤ株式会社	2
● 三井住友海上火災保険株式会社	5

### セミナーについて、全体を通しての満足度はいかがでしたか？



平均評価

3.32

## 「運輸業SDGsフェスタ」 2回開催の総括

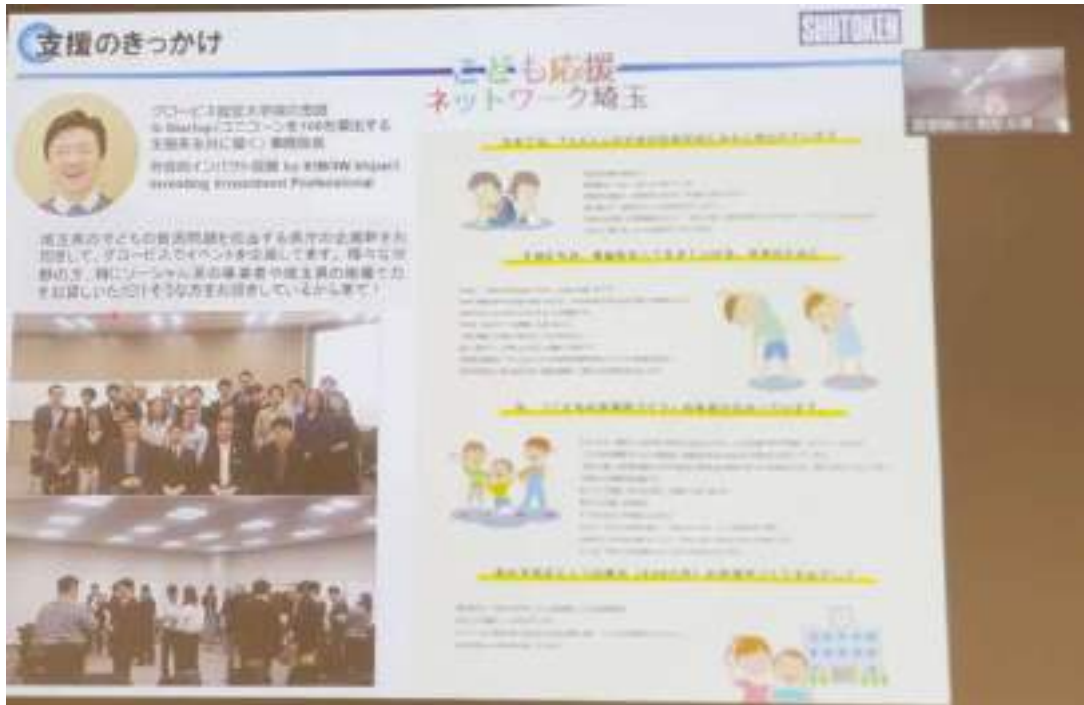
		第1回(2/22)		第2回(6/20)		計	
セミナー参加者数		106		103		209	
アンケート回答数		36		22		58	
セミナーの全体評価 (5点満点)		4.50		3.32		4.00	
SDGS経営	取組中	61.1%	83.3%	50.0%	81.8%	61.1%	83.3%
	これから	22.2%		31.8%		22.2%	
	予定なし	0.0%		13.6%		0.0%	
	その他	16.7%		4.5%		16.7%	
カーボン ニュートラル	取組中	52.8%	91.7%	27.3%	63.6%	43.1%	81.0%
	これから	38.9%		36.4%		37.9%	
	予定なし	2.8%		31.8%		13.8%	
	その他	5.6%		4.5%		5.2%	

セミナー参加者の80%以上が、SDGs、カーボンニュートラルともに、取組中であったり、今後取組を開始したいセミナーと考えている。

### 【運営上の課題、反省点】

- ＜企画面＞ ●コンテンツの充実 ●TDBCや、他WG等の紹介コーナー
- SDGs経営を実践する事業者の事例発表を強化 ●他のWGメンバーとの連携
- ＜集客面＞ ●集客ルートが多様化 ●他のWGメンバーとの連携 ●マスメディアの活用検討
- ＜運営面＞ ●WG内の役割分担、事前準備の見直し ●アンケート回答率UPの工夫

# SDGs 「共感」



# SDGs 「情報発信」

Heart to SEIRYO LINE  
SDGsの取り組みについて

セiryヨウラインは創業以来、「のちのちの世に」という理念のもとさまざまな活動を行ってまいりました。

日々めまぐるしく変化するこの社会において、たいせつなものを次の世代にもつなぐという一人一人が考え行動することが求められると考え、2022年12月よりSDGsの取り組みを始めました。

Heart to SEIRYO LINE × SUSTAINABLE GOALS

Instagram

SEIRYO LINE SDGs

Grid of images showing various SDG-related activities and graphics.

Instagram

Video showing a hand holding a 'Save the Earth' sticker in front of a recycling bin.

セiryヨウラインもSDGs実践  
エコキャップ運動など掲げる

SDGsにおける「廃棄物の削減」を実現可能な目標に挑戦するセiryヨウラインが、SDGs実践の一環として、エコキャップ運動の普及に努めている。同社は、2022年12月よりSDGsの取り組みを始め、SDGs実践の一環として、エコキャップ運動の普及に努めている。同社は、2022年12月よりSDGsの取り組みを始め、SDGs実践の一環として、エコキャップ運動の普及に努めている。

出典：物流Weekly（2022年9月19日号掲載）  
24



# SDGs 「情報発信」

産官学民連携を促すオンラインSDGsプラットフォーム



# 2022年度 WG09活動まとめ



## 運輸事業者のSDGs取組を牽引!!

### ① 運輸事業者にとっての「SDGs経営」「カーボンニュートラル」を研究

運輸事業者の取り組みや企業努力が反映される、

より精緻なデータ収集へ！

### ② SDGs啓発活動

「取り組み開始」から

「共感」「情報発信」まで

運輸事業者の課題をともに解決、共創による業界の発展へ



- 一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会
- <https://unyu.co/>
- [unyu.co@wingarc.com](mailto:unyu.co@wingarc.com)
- 03-5962-7370